

公益財団法人 船井情報科学振興財団
2024 年度夏の交流会 in Cambridge

塚本さんの講演の印象記

文責：渡邊優大 (FOS'24)

塚本紘康さんからは、研究対象である制御理論やその宇宙探査応用、過去の取り組みなどについて興味深いお話を聞くことができた。恒星間天体探査における不確実性の問題やマルチエージェントシステムの分散制御に対する Contraction theory の利用など多彩なテーマの紹介があった。その後は米国アカデミアの就職活動に話題が移り、講演者自身の考えについても触れられた。具体的には人脈や運に加え一貫性のある研究内容やビジョンが極めて重要とのことである。講演終盤にはイリノイ州で大量発生する素数ゼミに言及し、その奇妙さが聴衆の笑いを誘った。質疑応答では、提案法の仮定を満たす方法や UIUC での新たな課題に関する質問などが複数の聴衆から寄せられ、闊達な議論が行われた。